



マイナビオールスターゲーム 2022 開催記念 松山市三角ベース大会特別ルール

会場の規格について

1. 投手プレートとホームベースの間を 7m 程度とする。
2. 本塁と各塁の塁間は 18m とする。

運営について

1. 先攻・後攻は代表者のじゃんけんにより決める。
2. 試合の開始は両チームがファールラインに並び、審判の合図で挨拶し、開始する。
3. 審判等への抗議は一切認めない。
4. 1 試合 3 イニングとし制限時間を 25 分とする。20 分を超えた時点で次のイニングには入らず、その回までの結果を採用する。
5. 事故等により試合人数（7 人）に満たない場合も試合参加は認める。

出場選手について

1. 1 チーム 15 名以内とする。守備出場選手は 7 名でそのうち 2 人以上は小学生以下又は女性でなければならない。
2. 守備の選手交代は自由とするが、いたずらに試合時間を消費しないこと。
3. 攻撃はエントリーメンバー全員が順番に打席に入ることができる（守備位置につかない選手も打順に組み入れ打撃を行える）。

用具について

1. 統一したユニフォームの着用は不要とする。運動できる服装で構わないが、スパイクシューズやヒール、サンダルの着用は認めない。
2. グローブの着用は任意とするが、投手、捕手は着用を推奨する。
3. 打者のヘルメット、捕手の防具は着用不要とする。
4. 主催者が用意したプラスチックバット・試合球以外は、使用できない。

攻撃について

1. バットを使用しない手打ちを認める。
2. ピッチャーライナーを打たないよう配慮すること。
3. 盗塁とリードは認めない。
4. 走者は投手が投球動作に入って、ボールが手から離れるまで離塁してはいけない。審判は著しい離塁を確認した場合、相手チームのアピールによりアウトを宣告できる。
5. 代走は故障がある時を除いて、原則認めない。
6. 1 塁ベースを駆け抜ける場合、守備者にぶつからないよう配慮すること。この時走者が

ベースを踏んでいなくても審判の判断でセーフを宣告できる。

7. 打球がフェア地域内で、走者に当たった場合、守備妨害で走者はアウトとする。
8. 外野のネットを直接超えた場合、ホームランとする。フェア地域にバウンド後、越えた場合、二塁打とする。
9. 同一イニングに5得点した時点で攻守交替とする。

守備について

1. 投手は下手投げ（スローピッチ）とする。
2. 四球、死球は採用しない。
3. 暴投、捕逸は採用しない。（投球が後ろにそれた場合、ランナーの進塁は認めない。）
4. 守備は投手、捕手、内野手3名、外野手2名の合計7名とする。
5. ボールを走者に直接当ててアウトにするルールは採用しない。タッチプレーのみ認める。

順位の付けたか

1. 勝ち点制とする。勝ち3点、引き分け1点、負け0点。
2. 勝ち点が並んだ場合は、3試合の総得失点差による。
3. 上記でも並んだ場合は、代表者によるじゃんけんで1位チームを決める。
4. 2位以下が上記1～2で並んだ場合は同順位とする。

雨天時特別ルール（屋内運動場で実施）

1. 試合番号A・B各1-4は3イニングまたは20分制とする。試合番号A・B各5-7は2イニングまたは15分制とする。決勝戦は3イニングまたは20分制とする。
2. 打球がフェア地域内にある防球ネットの内側に入り、落下しない場合はボールデッドとして、打者及び走者には投球時点を基準にして2個の安全進塁権を与える。
3. 打球がフェア地域内の外野の防球ネットに直接当たった場合は、ボールインプレイとする。打球がネットに当たった後、地上に落ちる前に野手が捕球してもアウトにはならない。